

令和2年10月4日  
今週のベストショット



青松園A 雁の巣ライナーズ 対 奈多サンデーズ  
3打数3安打1HR4打点の活躍、雁の巣ライナーズベテランの久保田選手。  
写真：奈多クラブ 大石 晃司

**雁レク5 フェニックスがコールドで3位に！**

ソルトベイスターズ 00030 3 酒井●、中村(建)ー坂本  
奈多フェニックス 8024X 14 今林(勇)○ー吉田

**3BH**：井浦(ソルト) **2BH**：今林(英) **盗塁**：望月、今林(誠)、西藤、香山(奈多フ)

勝った方が3位となるこの試合、初回フェニックス今林(勇)投手は二死後ヒットを許すも後続をしつかり打ち取り、安定した立ち上がりを見せる。対するソルトベイスターズ先発酒井投手は立ち上がり制球に苦しみ、2つの四球と守りのミスで無死満塁となると、四番西藤選手のタイムリーでフェニックスが大事な先制点を奪うと、その後も四球でランナーをため、ヒットで返すという展開を作り、初回だけで一挙8点を上げる。諦めずに反撃したいソルトだが、今林(勇)投手の素晴らしいピッチングの前に二回、三回と三者凡退に抑えられなかなか反撃の糸口が掴めない。しかし二番からという好打順で始まる四回、先頭吉田選手がサード強襲ヒットで出塁し勢いをつけると、三番野口選手も続き、チャンスで四番の井浦選手へと繋ぐと、低めの球を上手くライト線へ運び走者一掃のタイムリー三塁打を放ち、2点を返し、更に内野ゴロの間に1点を追加する。このまま追いつきたいところだが、後続は打ち取られ、更に合計16個の四死球が響き、強力フェニックス打線の前に追加点を許し万事休す。投打で圧倒したフェニックスが見事3位に輝いた！(記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗)



奈多フェニックス先発の今林(勇)投手。



ソルトベ이스ターズ先発の酒井投手。



先制タイムリーを放つフェニックス西藤選手。



足もつれてしまったフェニックス吉田選手。



強烈なタイムリーを放つフェニックス望月選手。



途中登板のソルトベ이스ターズ中村(建)投手。



難しいボールも体でとめるソルトベ이스ターズ坂本捕手。



2安打を放ったソルトベ이스ターズ野口選手。



タイムリー三塁打を放つソルトベイスターズ井浦選手。



代打で出塁し、写真を求めるフェニックス今林誠選手。

### 青松園A 両チーム、タイムリーの応酬！ 強力打線 炸裂！

雁の巣ライナーズ 3 1 1 5 2 1 2 中村ー今林（颯）

奈多サンデーズ 8 2 2 0 0 1 2 木下ー野々下（利）

HR：久保田（雁の巣）神田（奈多サ） 2BH：久保田、正内（雁の巣）神田（奈多サ）

盗塁：明瀬（雁の巣）近藤（奈多サ）

一回表、雁の巣ライナーズは、連続四球で満塁後、五番久保田選手のライト線2点タイムリーヒット、ワイルドピッチ等で幸先よく3点先取。一回裏、奈多サンデーズは、同じく連続四球で満塁後、四番野々下（利）選手の犠牲フライ、ワイルドピッチ、押し出し四球後、七番神田選手と八番木下選手の連続タイムリー等で打者一巡の8点を挙げ、主導権を握る展開となった。二回表、ライナーズは、二三塁間の走者挟殺プレーのエラーで小刻みに1点を追加。その裏サンデーズ七番神田選手がレフトオーバー2ランHRで応戦。三回表、負けじとライナーズも五番久保田選手が右中間へソロHRで加点。三回裏、サンデーズは満塁から四番野々下（利）選手のセンターへの2点タイムリーで突き放した。四回表ライナーズの代打今林（貢）選手のライト前タイムリー後、三番正内選手が満塁から3点タイムリー二塁打、五番久保田選手のレフト前タイムリーで5点を挙げ反撃。更に五回表、パスボールとまたもや三番正内選手のライト線タイムリーで2点を追加し12点目を挙げ、同点に追いついた。そして五回裏サンデーズは得点できず時間切れ引き分けでゲームセット。ライナーズは序盤で大量失点し劣勢だったが、終盤は粘り強い反撃を見せよく追いついた。両チームとも満塁からのタイムリーを放ち、強力打線の目立つ試合だった。（記事：奈多クラブ 今林（俊）、写真：奈多クラブ 大石 晃司）



奈多サンデーズ先発 木下投手。



雁の巣ライナーズ先発 中村投手。



雁の巣ライナーズ、先制タイムリーの久保田選手。



初回から、点数の取り合い。



二回裏、追加点のHRを放った奈多サンデーズ神田選手。



三回表、右中間へHRを放つライナーズ久保田選手。



三回裏追加点のタイムリーを放つ、野々下選手。



四回表、満塁のチャンスで走者一掃タイムリーを放つ正内選手。



両チーム初の三者凡退に抑え盛り上がるライナーズ。



五回表、同点タイムリーを放つライナーズ正内選手。



サヨナラのチャンスでタッチアウト、サンデーズ川原選手。



壮絶な乱打戦を終え、健闘を称えあうライナーズ。



追い付かれたサンデーズ。



HRを放った雁の巣ライナーズ 久保田選手。



HRを放った奈多サンデーズ 神田選手。

## 奈多グラウンド 一方的な展開から終盤にジャガーズ猛反撃！

塩浜ジャガーズ 000142 7 道喜●一角

三苦三球会 09122× 14 鮎川○-藤澤

HR：末永（塩浜） 船橋（三球会） 3BH：猪野（塩浜）

2BH：池内（塩浜）、船橋、大津、松尾（三球会） 盗塁：堺太一（三）2、堺達也（三）

小雨が落ちる中、塩浜ジャガーズの先攻で試合が始まる。三苦三球会の先発は若手の鮎川投手。リードする女房役は久しぶりのマスクとなる藤澤選手。初回から鮎川投手、野手陣への声掛けは健在であった。先頭バッターを三振で抑えると二番バッターはライトフライ。三番バッターも三振に打ち取る最高の立ち上がりとなる。対するジャガーズの先発はベテラン道喜投手。下手投げでどこまで戦えるか注目の立ち上がり。先頭船橋選手はライト前ヒットで早速出塁する。しかし、後続3人をフライで打ち取り、無失点で初回を終え、雄叫びを上げながら道喜投手はベンチへ帰ってきた。投手戦の予感を感じる初回の攻防となったが、水流監督はこの初回に私に予言をしていました。「2巡目からがね・・・。」と。その予言が的中するかのうように、二回裏に三球会の打線が襲いかかる。五番鮎川選手・六番堺（太）選手がエラーで出塁すると、そこから七番・八番と連打でつなぎ、この回2回のアウトとなる藤澤選手を挟んで一番から六番まで6連打など打者14人9安打の猛攻で一挙9点を挙げる。三球会の打線もちろん見事であったが、ジャガーズの道喜投手の諦めないピッチングと、ジャガーズ若手野手がアウトにするために必死にボールを追い続ける姿が印象に残り、素晴らしいと思いました。三回にもこの日4安打と大活躍の船橋選手のホームランで突き放し、一方的な試合のまま終わるかと思われましたが、気持ちの切れてなかったジャガーズ若手が起点となり、逆襲が始まる。四回表、先頭の三番猪野選手がチーム初ヒットを三遊間に放つとエラーでまず1点を奪う。その裏に三球会が鮎川選手・渡辺選手のヒットなどで2点を追加して迎えた五回表のジャガーズの攻撃。無得点であればコールドゲームとなるが、一死から一番池内選手がライト前で出塁すると、一ノ瀬選手が四球で出た後、初ヒットの猪野選手が痛烈なセンターオーバーの三塁打で2点を返す。勢いの乗った中、四番末永選手も左中間を深々と破る本塁打でこの回4点を奪う。その後、五回裏・六回表と両チーム2点ずつを取ったところで時間となりゲームセットとなった。やはり二回の三球会の9点の攻撃が見事で、勝負を決することとなったが、両チームともハツラツとした若手の躍動と中堅・ベテランの渋い活躍があり、最終戦ではありましたが来年が楽しみになる戦いだったと思います。（記事・写真：和白新町パイレーツ 白岩 将義）



久しぶりのマスク、三球会藤澤選手。



躍動感溢れるフォームの三球会鮎川投手。



最後まで投げ抜いたジャグーズ道喜投手。



大津遊撃手の華麗なジャンピングスロー。



振って当たらないならバント攻撃だ！



必死にフライを追う松尾二塁手。



必死に三遊間の打球を追う池内遊撃手。



3安打のリードオフマン池内選手。



猪野選手のセンターオーバー三塁打。



この日4安打を放った船橋選手のすくい上げHR。



反撃のホームラン末永選手。



試合終了後の濃厚握手の塚監督と水流監督。

### 青松園B 初回到打者2巡、12得点の三友クラブが勝利！

三友クラブ 120 10 13 足達○、中内、柴田一矢野、谷崎  
 新町ウインズ 71 10 9 泉●一今林

HR：吉浦（新町ウ） 盗塁：坂本（三友ク）

初回、先攻の三友クラブは一番坂本選手が内野安打で出塁すると三番の中内選手のタイムリーヒットで難なく1点を先制。その後も四死球等、安定感に欠ける新町ウインズの泉投手を攻め、10人連続得点。なんと初回到打者2巡の12得点を奪った。新町ウインズはいきなり試合の主導権を完全に奪われた格好となった。しかしその裏、新町ウインズは一番と三番が四球で出塁、一死二塁に四番の吉浦選手が左中間を破る3ランを放ち3点を返した。またこちら、相手の四死球や失策などで7得点を奪い、5点差迄詰め寄りまだまだ勝敗は解らない展開に持ち込む。二回表、三友クラブはまた一番からの攻撃で坂本選手がこの日3安打目となる猛打賞、スチールで無死二塁となりチャンスと思った矢先、坂本選手の三塁への暴走でアウト。この回を三振で凌いだ新町ウインズに流れが傾けたが、二回と三回で1点ずつ得点するのが精いっぱい結局、初回の12失点が最後まで重くのしかかった。印象に残ったのは初回の2巡、12失点の場面で三つのアウトは全て三振で奪ったものだったこと。四死球がなければと思うと非常にもったいないと思った。次に期待したい。（記事・写真：三笠フレンズ 肥喜里 一征）



一回表、2安打目の三友クラブ坂本選手。



一回表、こちらも2安打目の中内選手。





三友クラブ先発の足達投手。



一回裏3ランHRを放つウインズ吉浦選手。



ホームランでベンチに迎えられる吉浦選手。



新町ウインズ先発の泉投手。



暴走で捕まる坂本選手。



二回裏、好返球により1点を防ぐ三友クラブ内野陣。